

蜃気楼 しんきろう



3日間をスライドで振りかえりました。

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

分科会「ルートーク」♡
養護老人ホームは...

2007年12月3日発行

地域に根ざすケアマネは...

商店街に事務所を持ったり在宅での看取り連携の報告があった。ケアマネは個人完結だが一人でできない仕事。困難事例は個人責任ではなく社会問題ケースとして取り組むべき。



養護老人ホームの職員は兼務で本来業務以外に介護保険の事務が多く大変です。ゆとりを持って関わられるよう発信していかなければ。

施設で支える認知症ケア...



身体拘束、行動抑制と帰宅願望、無断外出がテーマだった。ユニット化で個別ケアが進むと職員の意見もまとまらない。意見はバラバラでも心は一つ。情報を共有化しチームケア継続していけばきっとお年寄りから答えもらえる。

デイとショート一体で...

デイの人がショートに入っても変わらない援助をしたい。いかに楽しんでもらうか小さな成功の積み重ね。利用者の笑顔のためなら何でもやる。専門家としてニーズを見極め、一步下がって手を引くような援助を実践したい。



つぎたての餅は詰まらねもんだ... 新人がんばる

喜ばれる食事、人生の楽しみとしての食として月一回もちをつく。嚥下外来受診して個別対応。

利用者の言葉と先輩の支えで頑張れる。全国の仲間と失敗を恐れず頑張る



ターミナルケア

連絡ノートで家族と情報交換、多職種の連携重要。職員のメンタルケアも。今後につなげられるとりにくみに。



職場づくり

中間管理職としての悩みを抱えつつ本当に良くしようという意味のある会議を。人を育てる時間を。実践が問われている



金森先生記念講演

大人はキツキツに徹し、心を拓くのを待つ



来年は大阪府での開催です
どんな研究発表や講演、さらに出会いがあるのか
(それに〇〇が名物らしい...)

また、こられ～

次回開催地 大阪よりあいさつ
社会福祉法人：大阪福祉事業団
盲養護老人ホーム・地域生活支援センター
槻木荘施設長 中村公三 氏
『大阪的なお出迎えをさせていただきます。
乞うご期待!』

